

信頼性WGについて

市民活動促進担当

平成25年7月17日

共助社会づくり懇談会において指摘された課題について

共助社会全体の課題

(一次情報の利便性の課題)

共助社会づくりの担い手の全体像が把握できていない
寄附者や外部評価機関にとって、開示されているNPO等の情報の入手にあたって、利便性が不十分
NPO等の事業報告書に寄附者が求めている情報の記載が十分になされていない
登録が必要なデータベース等が多く、重複作業によるコストが相当程度団体に発生

(二次情報の不足)

NPO等の活動を寄附者にわかりやすく届ける評価や発信の仕組みが不足

NPO法人に係る課題

(信頼を毀損する団体の存在)

休眠法人や信頼を毀損する団体への対応が困難

(NPO法人の不十分な会計情報)

NPO法人会計基準の普及率が低く、開示している会計情報にバラつき

これまで提案のあった対応策

(一次情報の利便性の向上)

共助社会づくりの担い手の全体像を把握するための調査の実施
NPO法人ポータルサイトの利便性向上に加え、公益法人のデータベースと連携
経営体制・事業実施体制が見えやすい事業報告書のフォーマットの作成
内閣府NPO法人ポータルサイトのデータベースを可能な範囲で民間と共有する仕組みを構築

(二次情報を提供しやすい環境整備)

民間によるNPO等の評価に係る取組を促進

(信頼を毀損する団体への対処)

休眠法人等に対して整理を含め、適切に対処できるよう環境整備

(NPO法人の会計情報の精度向上)

NPO法人会計基準を団体の規模別等によって、適した支援を実施

本日も議論いただきたいこと

NPO等の信頼性を向上し、その円滑な活動を支えるためには、何を、どのような手順で進めて行くべきか

具体的には、

- 寄付者をはじめ、広く市民や企業等がNPO等に関する適切な情報を得ることができるようにするにはどうしたらよいか
- 寄付者等にわかりやすい情報が届くようにするにはどうしたらよいか
- NPO法人の運営の適切性を担保するために必要な制度上の取組等にはどのようなものがあるか

これらの中で、まず取り組むべきことは何か

NPO法人に係る課題

NPO法人の信頼性の向上

- 休眠法人や信頼を毀損する団体への対応が困難
 - 休眠法人等に対して整理を含め、適切に対処できるよう環境整備
 - 休眠法人を含め、法令上の義務を履行していない法人に対する監督を厳しくすべきか
 - 信頼を毀損する活動を行っている疑いのある法人に対してどのように対応すべきか

NPO法人の情報開示・発信基盤の整備

- NPO法人会計基準の普及率が低く、開示している会計情報にバラつき
 - NPO法人会計基準を団体の規模別等によって、適した支援を実施
 - NPO法人会計基準を普及させるためにはどのような取組が必要か
 - より多くの団体に活用してもらうために改善すべき点はないか
 - 他の非営利法人制度における会計との整合性をどのようにとるか
- NPO法人の事業報告書に寄附者が求めている情報の記載が十分になされていない
 - 経営体制・事業実施体制が見えやすい事業報告書のフォーマットの作成
 - どのようなフォーマットとすればガバナンスが効くようになるか
- 登録が必要なデータベース等が多く、重複作業によるコストが相当程度団体に発生
 - NPO法人ポータルサイトのデータベースを可能な範囲で民間と共有する仕組みを構築
 - どのような仕組みであれば効果的に共有できるか

共助社会づくりの担い手全体の課題

情報開示・発信基盤の整備

- 寄附者や外部評価機関にとって、開示されているNPO等の情報の入手にあたって、利便性が不十分
 - NPO法人ポータルサイトの利便性向上に加え、公益法人のデータベースと連携
 - 現在のサイトの改善点は何か
 - どのようになれば利便性が向上するか
- NPO等の活動を寄附者にわかりやすく届ける評価や発信の仕組みが不足
 - 民間によるNPO等の評価に係る取組を促進
 - 民間による取組を促進するにはどうしたらよいか

統計・調査・研究の整備

- 共助社会づくりの担い手の全体像が把握できていない
 - 担い手の全体像を把握するための調査の実施
 - 一般社団・財団をどう把握するか
 - ソーシャルビジネス事業者(特に営利形態)をどう定義するか
 - どういった指標をもって全体像を示すこととするか